沼津:	工業高等	専門学校	開講年度	開講年度 平成31年度 (2019年度)			授業科目 プログラミング				
科目基礎	情報				_	•					
科目番号 2019-223			3		科目区分	専門	'必修				
授業形態		授業				数 履修	単位: 2				
開設学科			□学科			2					
開設期		+									
教科書/教材	対	Processir ヤパン	igをはしめよう 弗	Z版 (Make: PROJE	CTS) , Casey Rea	as (者), Ben	Fry (者), 船田 圴 (翻訳), オフイリーシ				
担当教員		高矢 昌紀									
到達目標											
 □ コンピュータを用いたプログラムの開発手順が説明できる。 □ アルゴリズムをフローチャートに表すことができる。 □ 構造化プログラミングの概念を説明できる。 □ 条件分岐や反復などの構造を記述できる。 □ 参照型データと値型データの違いを説明できる。 											
ルーブリ	ック										
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベ	いの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1			の開発手順が詳	細に説明できる。	コンピュータを用の開発手順が説明	いたプログ できる。	ラム コンピュータを用いたプログラム の開発手順が説明できない。				
評価項目2			アルコリスムを 表すことができ ことができる。	フローチャートに , かつ, 説明する	アルゴリズムをフ 表すことができる	7ローチャー う。	トに アルゴリズムをフローチャートに 表すことができない。				
評価項目3			構造化プログラ 細に説明できる	ミングの概念を詳	構造化プログラミ 明できる。	シグの概念	を説 構造化プログラミングの概念を説明できない。				
評価項目4			ーチャートで記	述でき,かつ,使	ーチャートで記过	だでき, かつ	フロ 条件分岐や反復などの構造をフロ , 使 ーチャートで記述でき, かつ, 使 い分けについて説明できる。				
評価項目5			参照型データと と違いを詳細に	値型データの概念 説明できる。	参照型データと値 と違いを説明でき	型データの る。	概念 参照型データと値型データの概念 と違いを説明できない。				
学科の到	達目標項	授業									
【本校学習	・教育目標	(本科のみ] 3								
教育方法	等										
コンピュータを十分に活用するためにはアプリケーションソフトウェアが必要である。アプリケーションの 概要 ログラミングの知識が欠かせない。本講義では,教育用プログラミング言語の一つであるProcessingを利用し							である。アプリケーションの開発にはプーーつであるProcessingを利用して簡単なータを利用した演習も行う。				
授業の進め	方・方法	□ コ: □ ア/ □ 構 □ 条(□ 参)	ンピュータを用いたプログラムの開発手順が説明できる。 ルゴリズムをフローチャートに表すことができる。 造化プログラミングの概念を説明できる。 牛分岐や反復などの構造を記述できる。 照型データと値型データの違いを説明できる。								
注意点											
授業計画											
週		週	授業内容								
	1stQ	1週	ガイダンス		1.						
		2週	プログラミング言詞	吾の基礎	;	示するプログラムを作成ならびに実行することができ					
前期		3週	入出力と演算		į						
		4週	入出力と演算								
		5週	入出力と演算								
		6週	入出力と演算		:	データと演算 を記述するこ	·タと演算子について説明することができ、コード <u>3述</u> することができる。				
		7週	寅習								
		8週	分岐と繰り返し		í	制御文と条件	片式,if文を理解し説明することができる。				
		9週	分岐と繰り返し								
		10週	分岐と繰り返し			説明することができる。 配列,配列の初期化,多次元配列を理解	<u></u>				
	2ndQ	11週	配列と文字列			とができる。					
		12週	配列と文字列		;	ができる。					
		13週	寅習			「分岐と繰り返し」および「配列と文字列」に関する 演習課題を実装することができる。					
		14週	オブジェクト指向			オブジェクト指向の概念を理解し説明することができ る					
			値型と参照型データ	7	-	参照型データの特徴を理解し説明することができる					
		16週									

		_		1								
後期		1週		クラスとインスタン		ンス		クラスとインスタンスの概念を理解し説明することが できる				
		2週		演習			「オブジェクト指向」に関す 装することができる			するに関する演習課題を実		
		3週		関数					関数のスタイル,関数間のデータ渡しを理解し説明することができる。			
	3rdQ	4週		関数			配列渡し,main関数の引数な きる。			を理解し説明することがで		
		5週		関数	関数				再帰, 算術関数の概念を理解し説明することができる。			
		6週		演習					「関数」に関する演習課題を実装することができる。			
		7週		グラフィックス				Processing上で円や四角形などの基本図形を描画する ことができる。				
		8週	り グラ:		ブラフィッ <i>ク</i> ス			Processing上で基本図形を動かすコードを記述することができる。				
		9週 ファ		ファー	ファイル処理			ファイル入出力, ファイル操作のための関数を理解し 説明することができる。				
		10返	<u> </u>	ファイル処理			ファイルのブロック処理を理 る。			運解し説明することができ		
		11返	<u> </u>	ファイル処理				ファイルのランダム処理を理解し説明することができる。				
	4thQ	12返	<u> </u>	演習			「ファイル処理」に関する演 できる。			寅習課題を実装することが		
		13返	<u> </u>	アルコ	レゴリズム		基本的なアルゴリズムを理解しフローチャートで記述することができる					
		14週		アルゴリズム				著名なアルゴリズムを理解し説明することができる				
		15週		総括					一年間の内容を説明すること	とができる。		
		16退	<u></u>									
モデルコ	コアカリコ	キユラ	ラムの)学習	内容と到達	目標	Ē					
分類			分野	学習内容		学習	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
					ラ 情報リテラ	論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。			3	前6,前7		
基礎的能力	 カ 工学基	礎	情報リ シー	テラ		同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在 しうることを知っている。			3	後13		
			ノ ー			与え する	与えられた基本的な問題を解くための適切なアルゴリズムを構築 することができる。			3	後14	
評価割る												
試験							課題レポート	授	· · · · · · · · · · · · · ·	含計		
総合評価割合 4			45	15			45	1	0 1	.00		
基礎的能力			0				0	0	0)		
専門的能力			45	45			45	1	0 1	.00		
分野横断的能力 (0)			0	0	0			